



TOYOTA BOSHOKU

東証1部 証券コード 3116

2021年度（2022年3月期）

第1四半期 決算説明会

開催日：2021年7月30日

目次

1. 2021年度第1四半期 決算状況
2. 2021年度 通期業績予想
3. 参考情報

目次

1. 2021年度第1四半期 決算状況

2. 2021年度 通期業績予想

3. 参考情報

スクリプト

- ◆伊藤でございます。
- ◆お忙しい中、当社の2021年度第1四半期 決算説明会にご出席いただきまして、ありがとうございます。
- ◆本日は、はじめに、2021年度第1四半期の決算状況、続いて、通期の業績予想をご説明させていただきます。
- ◆なお、当四半期より、中国地域と、アジア・オセアニア地域を分けて決算情報を開示しております。
- ◆それでは、2021年度第1四半期の決算状況についてご説明いたします。

1-1) 2021年度第1四半期 決算状況 連結決算概要

(億円)

	20年度 第1四半期実績		21年度 第1四半期実績		増減	
	金額	対前年比	金額	対前年比	金額	対前年比
売上収益	2,120	100.0%	3,542	100.0%	1,421	67.0%
営業利益	△140	△6.6%	177	5.0%	318	—
税引前利益	△151	△7.1%	194	5.5%	346	—
当期利益*	△182	△8.6%	121	3.4%	304	—

*親会社の所有者に帰属する当期利益

1株当たり四半期利益	△97円68銭	65円27銭	
為替レート	USドル	108円	109円 +1円
	1-0	118円	132円 +14円

売上収益

前年度コロナ禍からの需要回復により増収

営業利益

新製品効果や諸経費の効率的な執行など稼ぐ力は着実に向上しており、第1四半期では過去最高益

スクリプト

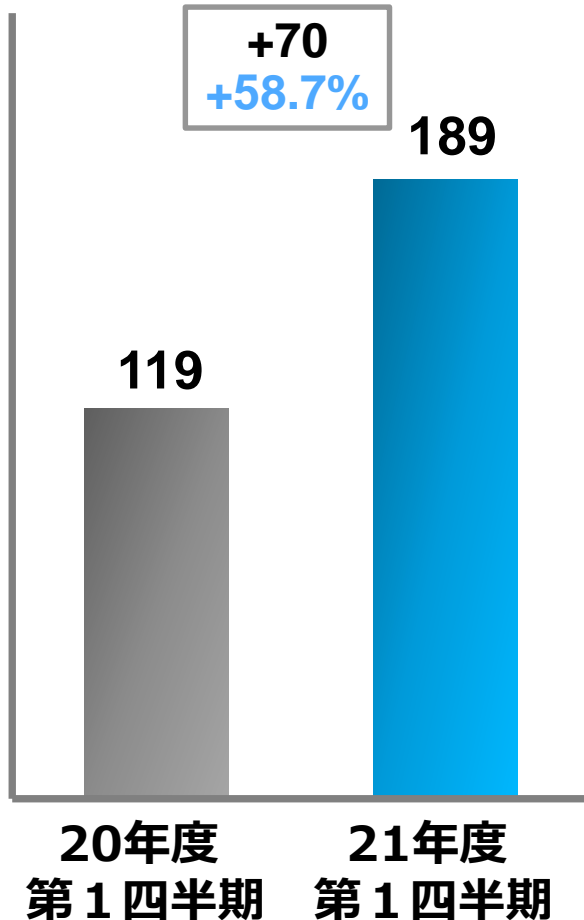
- ◆ 売上収益は、前期比1,421億円増加の3,542億円。
- ◆ 営業利益は、前期比318億円増益の177億円となりました。
- ◆ 税引前利益は、前期比346億円増益の194億円。
- ◆ 親会社の所有者に帰属する当期利益は、
前期比 304億円増益の121億円となりました。

- ◆ 為替レートは、1ドル109円、1ユーロ132円でございます。
なお、前年同期からの為替影響につきましては、
売上収益でプラス94億円、営業利益でプラス7億円、
増加する方向に効いております。

1-2) 2021年度第1四半期 決算状況 地域別シート生産台数

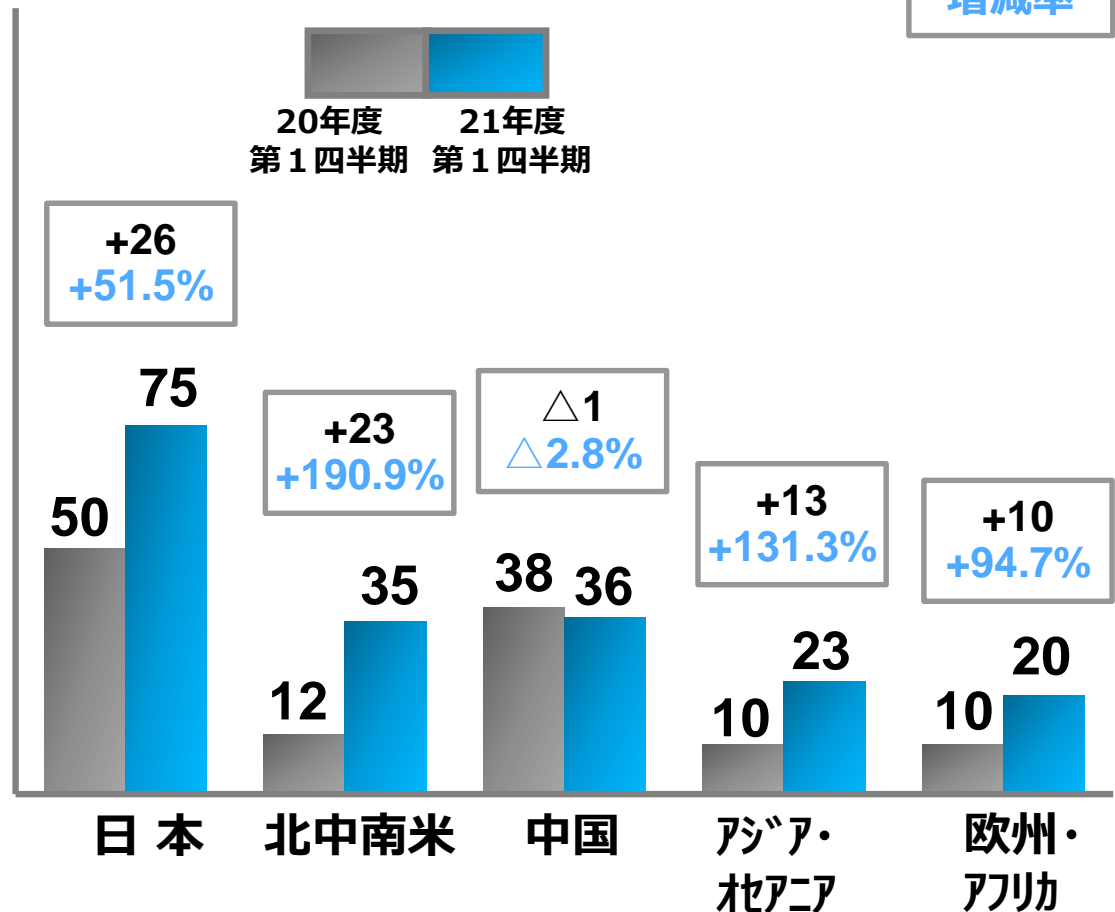
連結全体

(万台)



セグメント別

(万台)



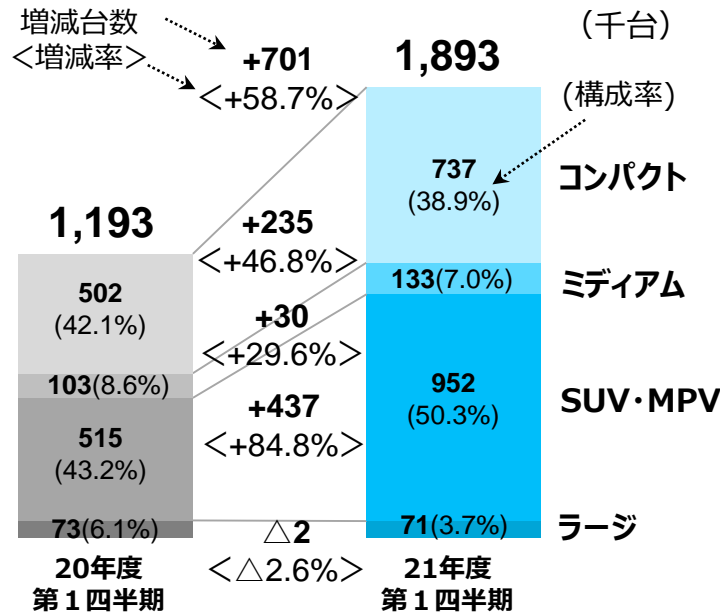
スクリプト

- ◆ 続きまして、私どもの主力製品であるシート生産台数ですが、連結全体では、前期比プラス70万台の189万台となりました。
- ◆ 地域別は、ご覧の通りとなっておりますが、詳細は、地域別のページにてご説明いたします。

1-3) 2021年度第1四半期 決算状況 連結 売上収益・営業利益

材料費高騰などの減益要因はあるものの、前年度コロナ禍からの需要回復による増産影響や新製品効果などにより増益

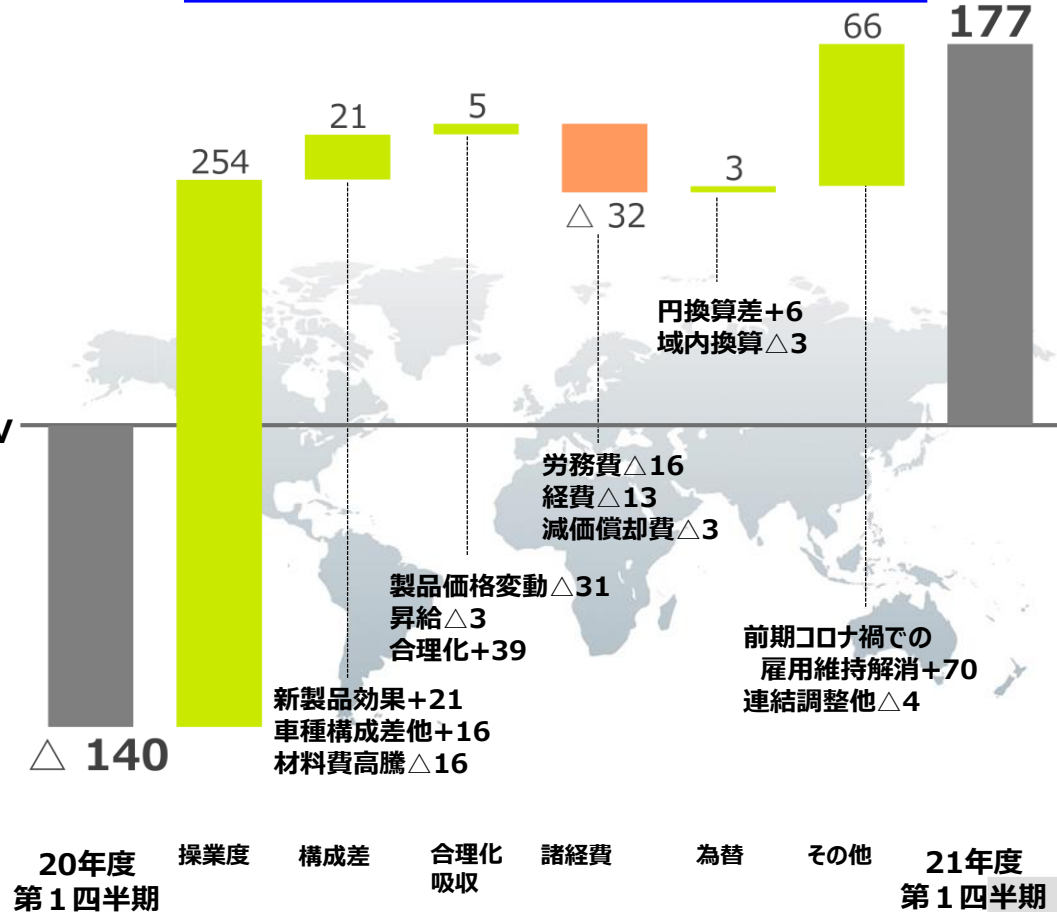
台数・車種構成の変化



当期の経営成績

	20年度1Q	21年度1Q	増減
売上収益	2,120	3,542	1,421
営業利益	△140	177	318
営業利益率	△6.6%	5.0%	-

営業利益の増減解析 (前期比)



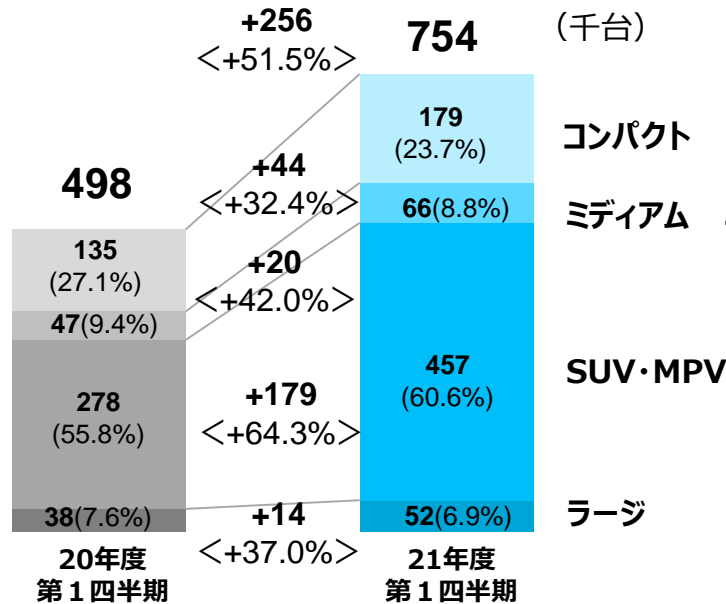
スクリプト

- ◆次に、連結の業績についてご説明いたします。
- ◆台数ですが、前期比プラス70万台の189万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比1,421億円増加の3,542億円。
- ◆営業利益は、
材料費高騰などの外部環境変化による減益要因ありますが、
前年度のコロナ禍で構築したリーンな生産体制を基盤に、
増産効果を最大限取り込むとともに、
新製品の立上げロス最小化と収益向上活動などにより、
318億円増益の177億円となりました。

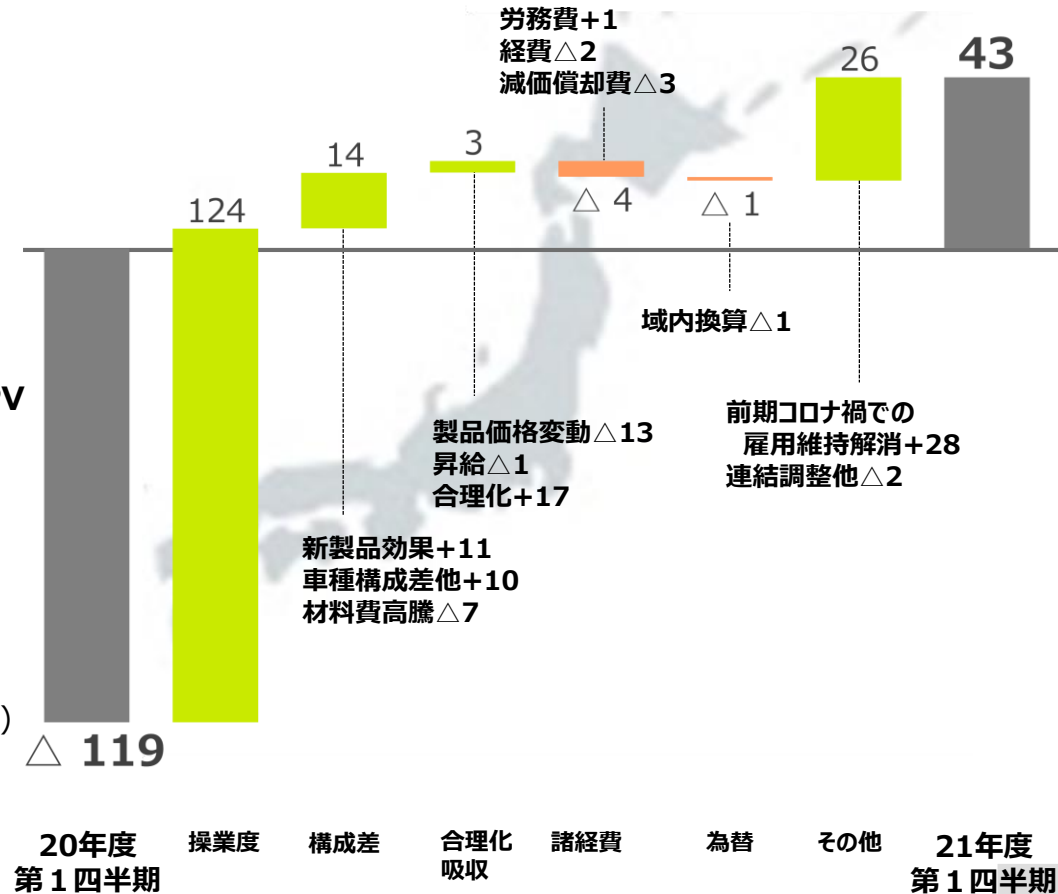
1-3) 2021年度第1四半期 決算状況 日本 売上収益・営業利益

材料費高騰などの減益要因はあるものの、
前年度コロナ禍からの需要回復による増産影響や新製品効果などにより増益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比)



当期の経営成績

	2020年度1Q	2021年度1Q	増減
売上収益	1,229	1,885	655
営業利益	△119	43	162
営業利益率	△9.7%	2.3%	-

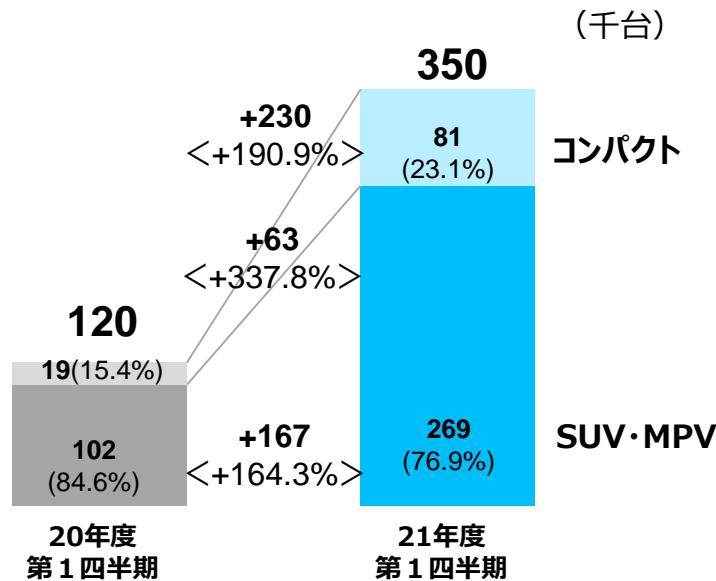
スクリプト

- ◆次に、日本ですが、
- ◆台数は、前期比プラス26万台の75万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比655億円増加の1,885億円。
- ◆営業利益は、
材料費高騰などの減益要因はありますが、
前年度コロナ禍からの需要回復による増産影響や新製品効果
などにより162億円増益の43億円となりました。

1-3) 2021年度第1四半期 決算状況 北中南米 売上収益・営業利益

材料費高騰や諸経費増加などの減益要因はあるものの、前年度コロナ禍からの需要回復による増産影響や新製品効果などにより増益

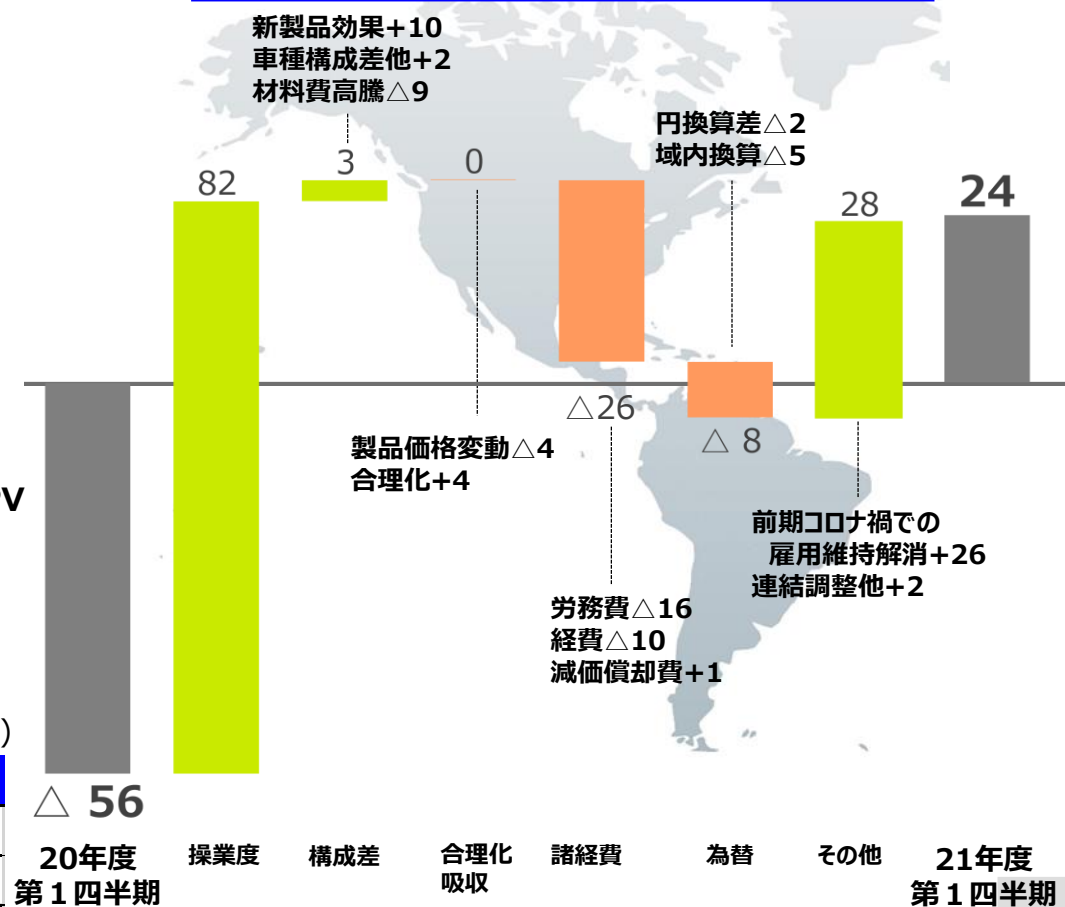
台数・車種構成の変化



当期の経営成績

	20年度1Q	21年度1Q	増減
売上収益	279	786	506
営業利益	△56	24	80
営業利益率	△20.1%	3.1%	-

営業利益の増減解析 (前期比)

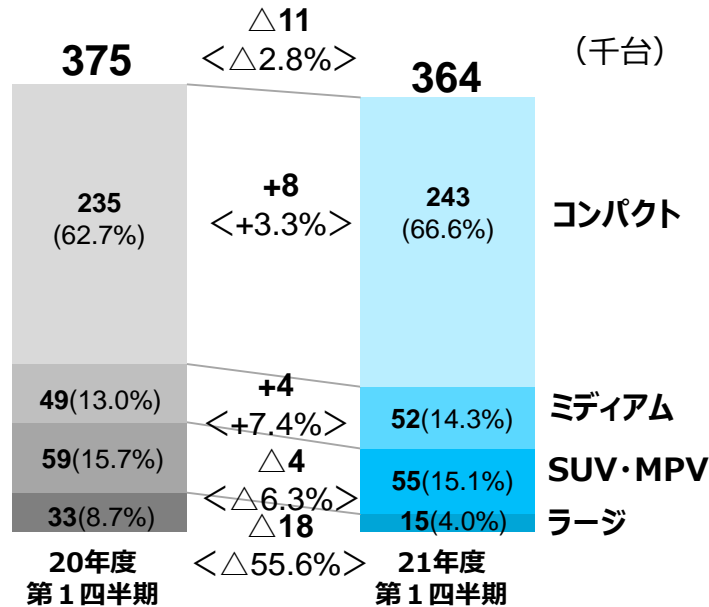


- ◆次に、北中南米ですが、
- ◆台数は、前期比プラス23万台の35万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比506億円増加の786億円。
- ◆営業利益は、
生産正常化に伴う諸経費増加や材料費高騰などの減益要因はありますが、前年度のコロナ禍からの需要回復による増産影響や新製品効果などにより80億円増益の24億円となりました。

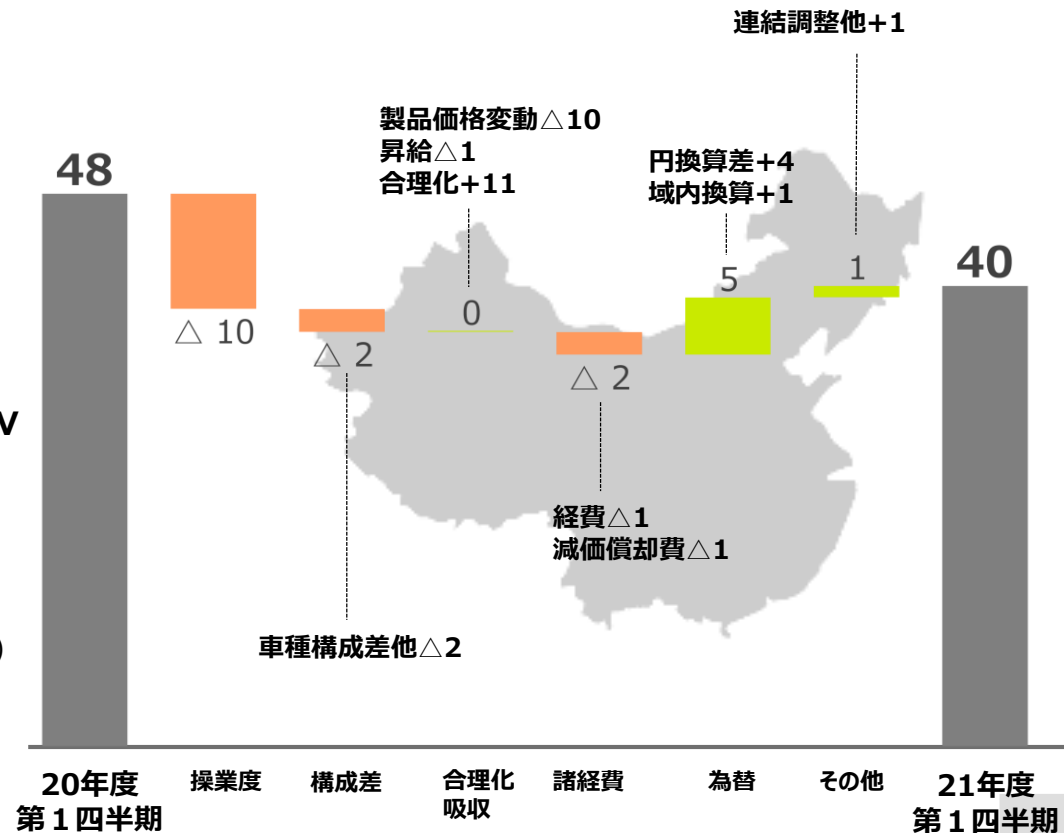
1-3) 2021年度第1四半期 決算状況 中国 売上収益・営業利益

前年度にコロナ禍からの需要回復に伴う増産影響があったことや一部車種の生産終了に伴う減産影響などにより減益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比)



当期の経営成績

	20年度1Q	21年度1Q	増減
売上収益	464	445	△18
営業利益	48	40	△8
営業利益率	10.5%	9.0%	-

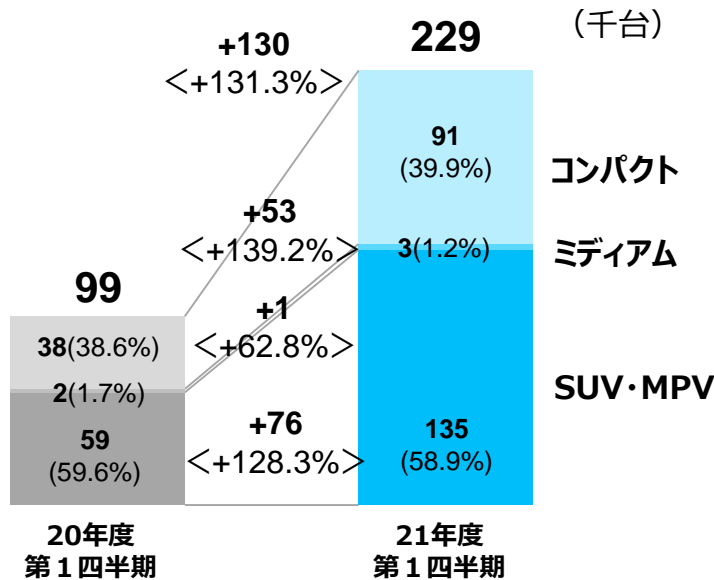
(億円)

- ◆次に、中国ですが、
- ◆台数は、前期比マイナス1万台の36万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比18億円減少の445億円。
- ◆営業利益は、
前年度にコロナ禍からの需要回復に伴う増産影響があったことに加え、
一部車種の生産終了に伴う減産影響などにより
8億円減益の40億円となりました。

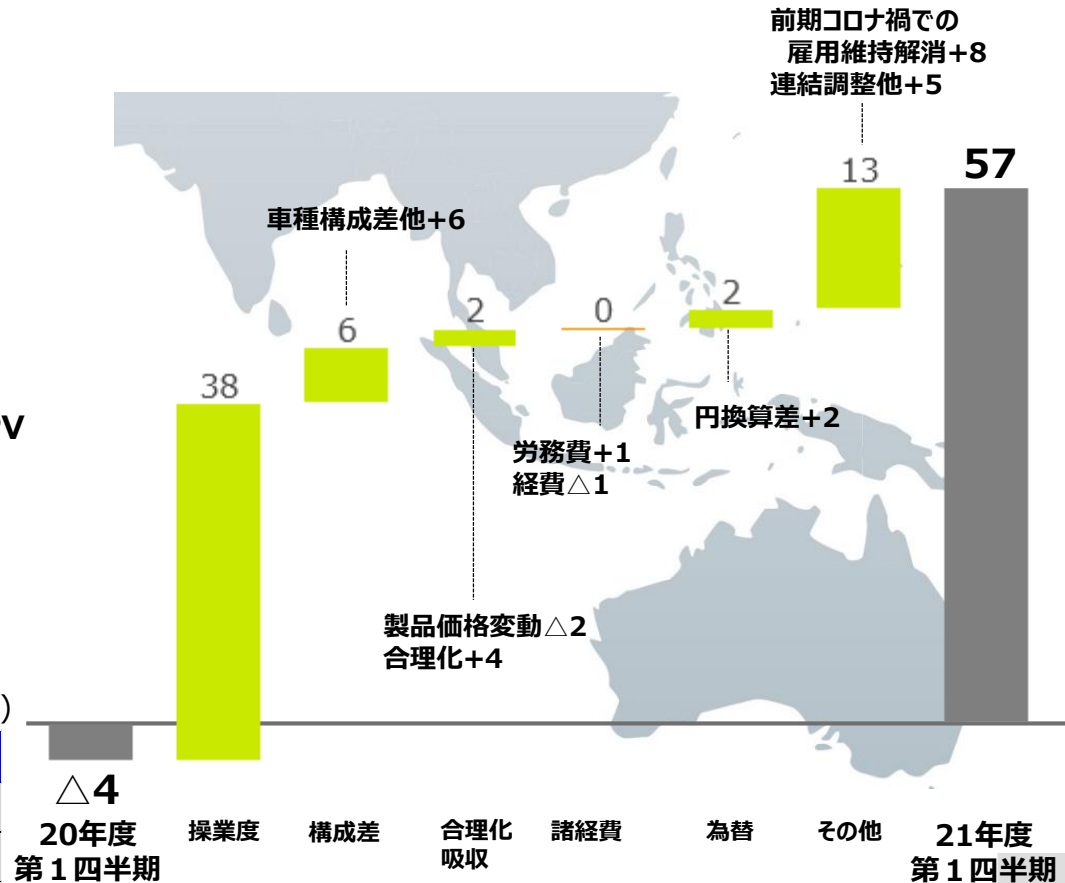
1-3) 2021年度第1四半期 決算状況 アジア・セアニア 売上収益・営業利益

前年度コロナ禍からの需要回復による増産影響などにより増益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比)



当期の経営成績

	20年度1Q	21年度1Q	増減
売上収益	197	417	219
営業利益	△4	57	61
営業利益率	△2.2%	13.8%	-

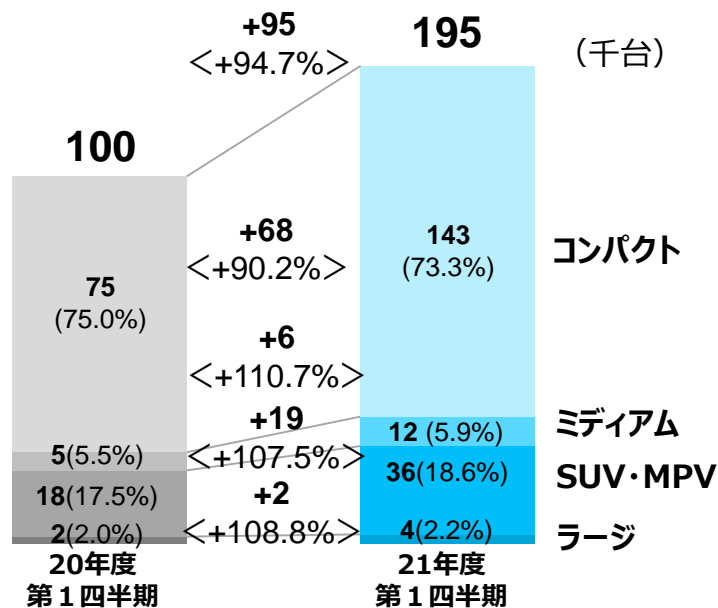
スクリプト

- ◆次に、アジア・オセアニアですが、
- ◆台数は、前期比プラス13万台の23万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比219億円増加の417億円。
- ◆営業利益は、
前年度コロナ禍からの需要回復による増産影響等により、
61億円増益の57億円となりました。

1-3) 2021年度第1四半期 決算状況 欧州・アフリカ 売上収益・営業利益

前年度コロナ禍からの需要回復による増産影響などにより増益

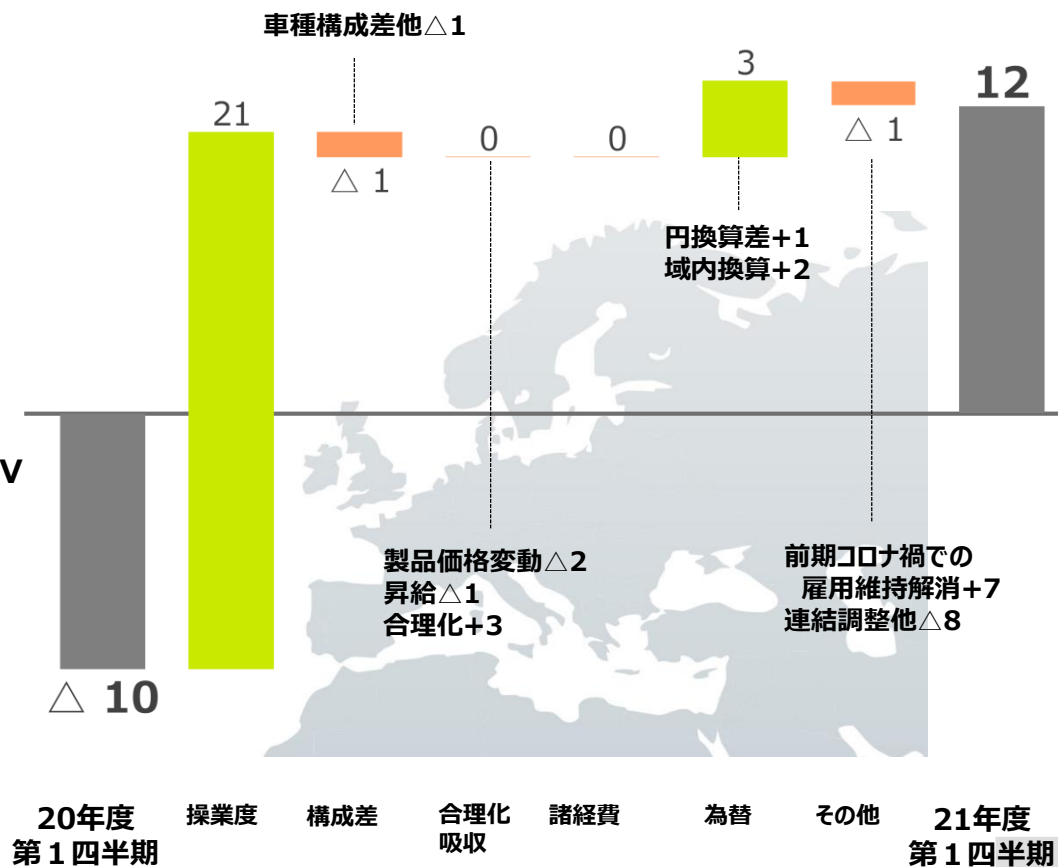
台数・車種構成の変化



当期の経営成績

	20年度1Q	21年度1Q	増減
売上収益	108	232	123
営業利益	△10	12	23
営業利益率	△10.0%	5.6%	-

営業利益の増減解析 (前期比)



- ◆次に、欧州・アフリカですが、
- ◆台数は、
前年比プラス10万台の20万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比123億円増加の232億円。
- ◆営業利益は、
前年度コロナ禍からの需要回復による増産影響などにより
23億円増益の12億円となりました。

目次

1. 2021年度第1四半期 決算状況

2. 2021年度 通期業績予想

3. 参考情報

◆続いて、2021年度の業績予想についてご説明いたします。

2-1) 2021年度 通期業績予想 連結決算概要

(億円)

	20年度 通期実績		21年度 通期予想		増減		21年度通期予想 (当初公表)	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上収益	12,721	100.0%	14,000	100.0%	1,278	10.1%	14,000	100.0%
営業利益	571	4.5%	720	5.1%	148	26.1%	720	5.1%
税引前利益	573	4.5%	730	5.2%	156	27.3%	730	5.2%
当期利益*	311	2.5%	470	3.4%	158	50.7%	470	3.4%

*親会社の所有者に帰属する当期利益

1株当たり当期利益		166円93銭	251円52銭		251円54銭
為替レート	USドル	106円	106円	—	105円
	1-0	124円	130円	+6円	125円

売上収益

コロナ再拡大や半導体不足などによる減産リスクはあるものの、グローバルでの需要回復などにより増収となる見込み

営業利益

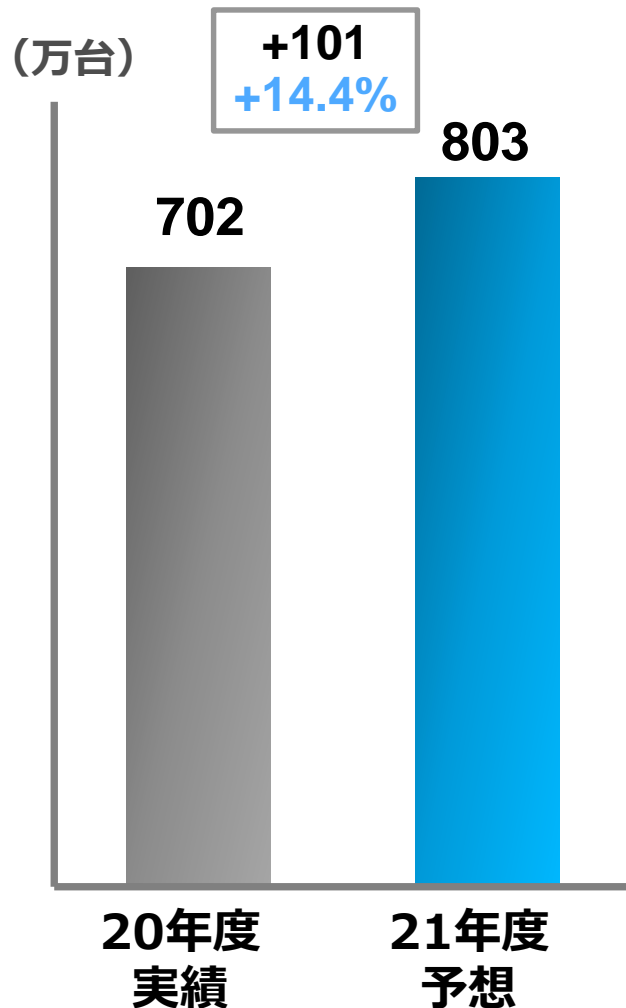
材料費高騰などの減益要因はあるものの、需要変動への柔軟な対応や諸経費の効率的な執行により当初公表値から変更なし

スクリプト

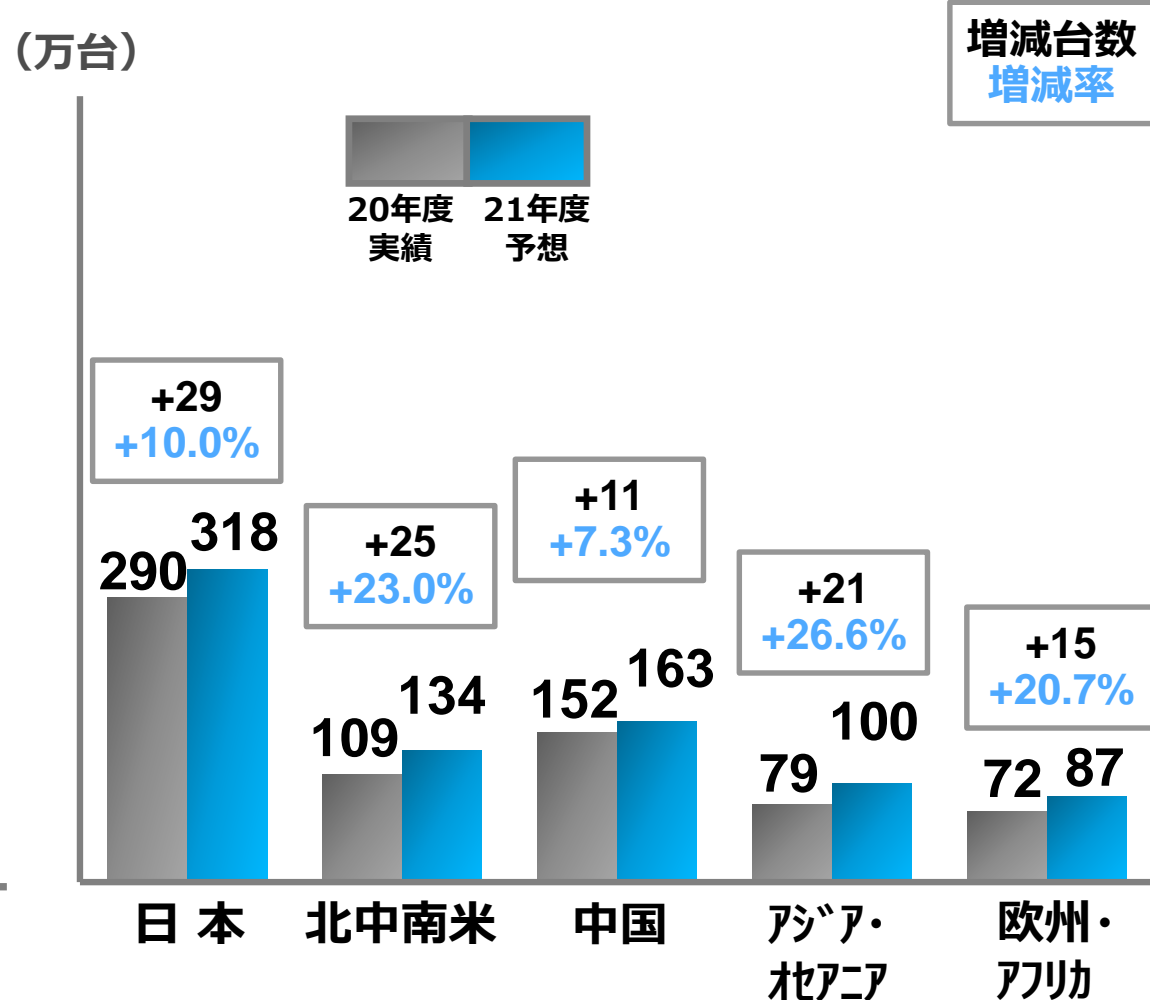
- ◆売上収益は、前期比1,278億円増加の1兆,4000億円と予想しております。
- ◆営業利益は、前期比148億円増益の720億円。
- ◆税引前利益は、前期比156億円増益の730億円。
- ◆親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比158億円増益の470億円をそれぞれ予想しております。
- ◆なお、当予想は、期末決算にて公表させていただいた予想から変更はございません。
- ◆為替レートは、1ドル106円、1ユーロ130円を前提としております。

2-2) 2021年度 通期業績予想 地域別シート生産台数

連結全体



セグメント別



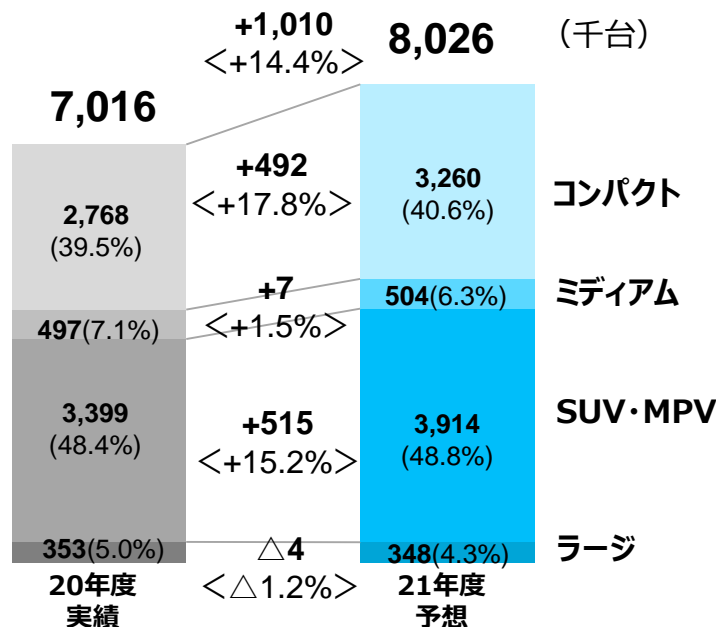
- ◆次に、シート生産台数ですが、
連結全体では、前期比プラス101万台の803万台と
予想しております。

- ◆地域別は、ご覧の通りとなっておりますが、
詳細は、地域別のページにてご説明いたします。

2-3) 2021年度 通期業績予想 連結 売上収益・営業利益

将来の成長に向けた先行投資の実施や材料費高騰による減益はあるものの、グローバルでの増産影響や新製品効果などにより、増益となる見込み

台数・車種構成の変化

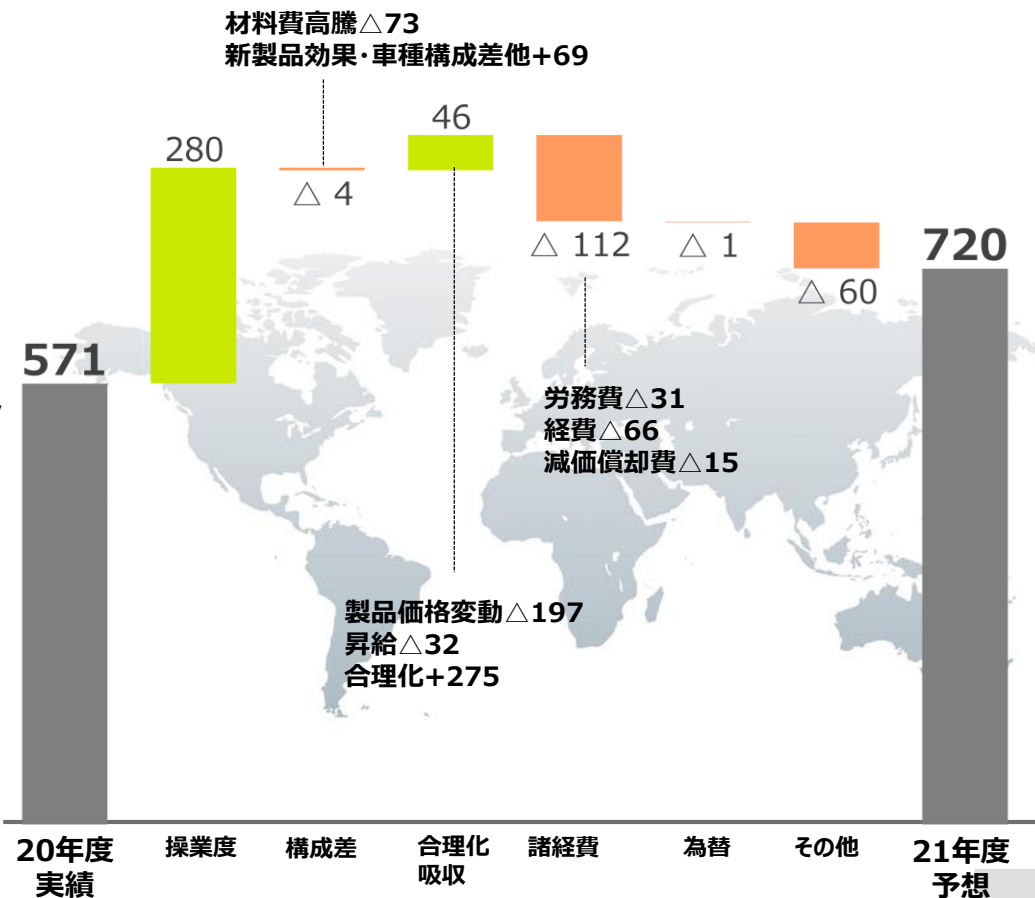


当期の経営成績

(億円)

	20年度実績	21年度予想	増減
売上収益	12,721	14,000	1,278
営業利益	571	720	148
営業利益率	4.5%	5.1%	-

営業利益の増減解析 (前期比)



スクリプト

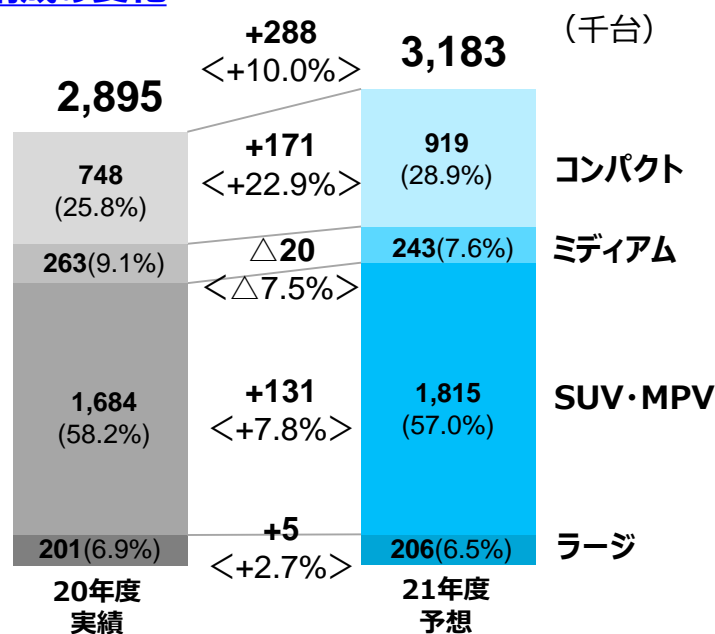
- ◆次に、連結の売上収益・営業利益についてご説明いたします。
- ◆台数・車種構成の変化ですが、
ラージを除く全セグメントでの増産を見込んでおり、
前期比プラス101万台の803万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比1,278億円増加の1兆4,000億円。
- ◆営業利益は、将来の成長に向けた先行投資や
材料費高騰による減益要因はありますが、
前年度に構築したリーンな生産体制を基盤に、
増産効果を最大限取り込むとともに、
新製品の収益向上活動などを強化し、
前回同様の720億円にチャレンジしてまいります。

2-4) 2021年度 通期業績予想 地域別 売上収益・営業利益

日本

材料費高騰や将来投資などによる減益要因はあるものの、増産影響や新製品効果により増益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

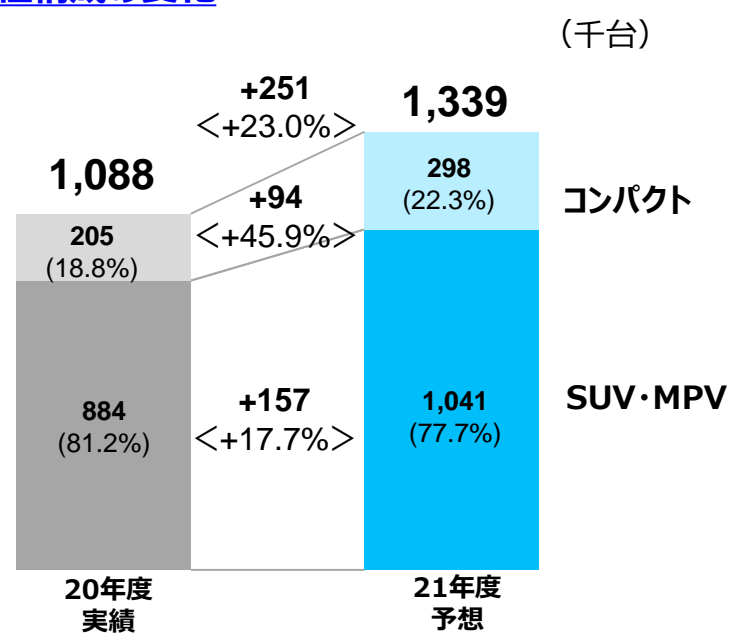
(億円)

	2020年度実績	21年度予想	増減
売上収益	6,996	7,600	603
営業利益	140	220	79
営業利益率	2.0%	2.9%	-

北中南米

材料費高騰による減益要因はあるものの、増産影響やモデルチェンジに伴う一時的な不効率の解消などにより増益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

(億円)

	2020年度実績	21年度予想	増減
売上収益	2,460	2,800	339
営業利益	14	100	85
営業利益率	0.6%	3.6%	-

スクリプト

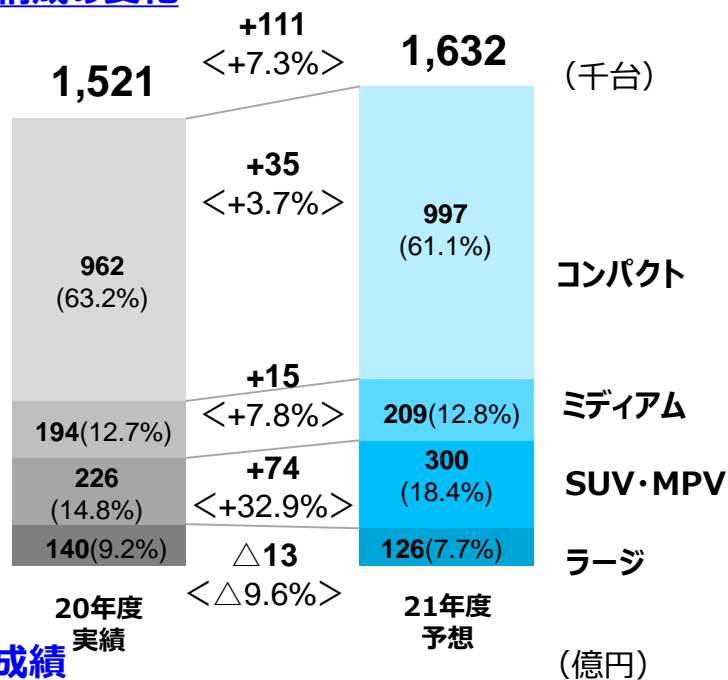
- ◆次に、地域別の業績予想をご説明いたします。
- ◆まず日本ですが、
台数は、前期比プラス29万台の、318万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比603億円増加の7,600億円。
- ◆営業利益は、材料費高騰や将来投資などによる減益要因はありますが、
増産影響や新製品効果により
前期比79億円増益の220億円となる見込みです。
- ◆次に、北中南米ですが、
台数は、前期比プラス25万台の134万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比339億円増加の2,800億円。
- ◆営業利益は、材料費高騰による減益要因はありますが、
増産効果やモデルチェンジに伴う一時的な不効率の解消などにより
前期比85億円増益の100億円となる見込みです。

2-4) 2021年度 通期業績予想 地域別 売上収益・営業利益

中国

増産影響や新製品効果などによる増益要因はあるものの、車種構成の変化や諸経費の増加により減益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

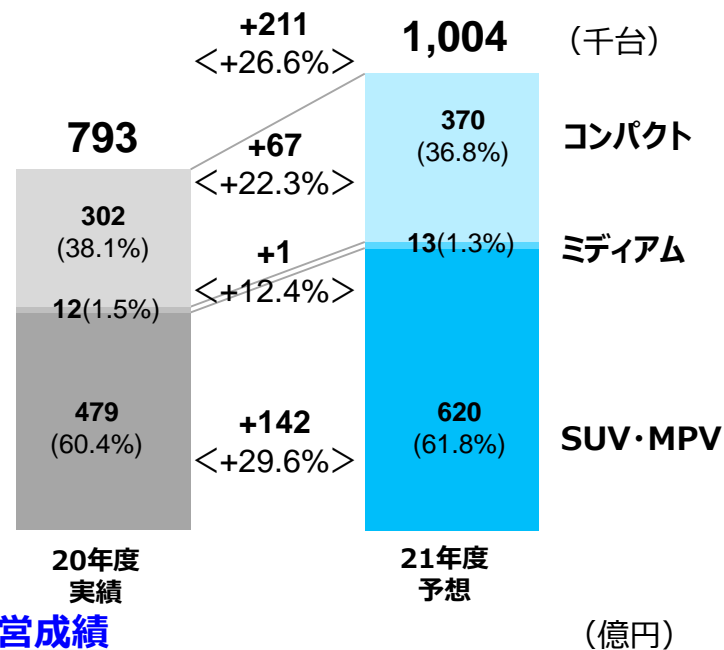
	20年度実績	21年度予想	増減
売上収益	1,804	2,000	195
営業利益	184	150	△34
営業利益率	10.2%	7.5%	-

(億円)

アジア・セアニア

前年度コロナ禍からの需要回復による増産影響などにより増益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

	20年度実績	21年度予想	増減
売上収益	1,444	1,600	155
営業利益	171	190	18
営業利益率	11.9%	11.9%	-

(億円)

スクリプト

- ◆次に、中国ですが、
台数は、前期比プラス11万台の163万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比195億円増加の2,000億円。
- ◆営業利益は、増産影響や新製品効果などによる増益要因はありますが、
車種構成の変化や諸経費の増加により
前期比34億円減益の150億円となる見込みです。

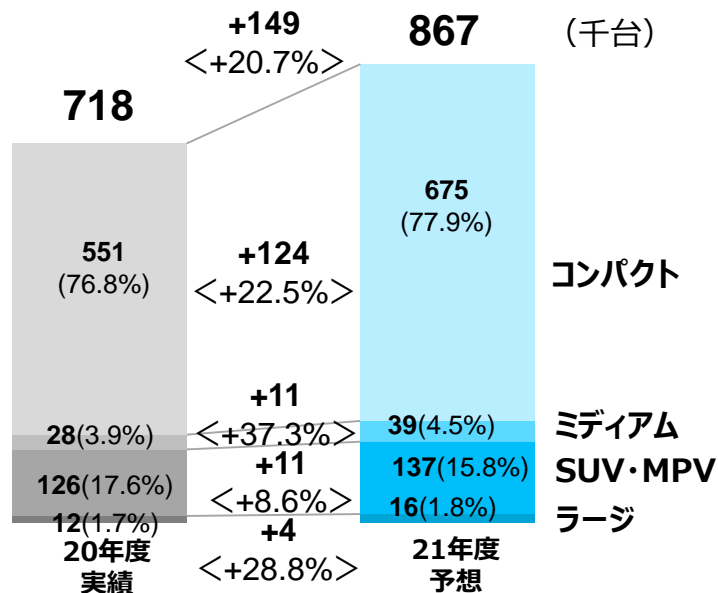
- ◆次に、アジア・オセアニアですが、
- ◆台数は、前期比プラス21万台増産の100万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比155億円増加の、1,600億円。
- ◆営業利益は、前年度コロナ禍からの需要回復による増産影響などにより
前期比18億円増益の190億円となる見込みです。

2-4) 2021年度 通期業績予想 地域別 売上収益・営業利益

欧州・アフリカ

材料費高騰や諸経費の増加による減益要因はあるものの、増産影響などにより前年並みの営業利益を確保

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

(億円)

	20年度実績	21年度予想	増減
売上収益	826	900	73
営業利益	60	60	△0
営業利益率	7.3%	6.7%	-

スクリプト

- ◆次に、欧州・アフリカですが、
- ◆台数は、前期比プラス15万台の87万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比73億円増加の900億円。
- ◆営業利益は、材料費高騰や諸経費増加による減益要因はありますが、増産影響などにより前年並みの60億円となる見込みです。

2-5) 2021年度 通期業績予想 地域別・上下別

売上収益

(億円)

	上期	下期	通期
日本	3,700	3,900	7,600
北中南米	1,400	1,400	2,800
中国	900	1,100	2,000
アジア・中東	700	900	1,600
欧州・アフリカ	400	500	900
連結全体	6,700	7,300	14,000

営業利益

(億円)

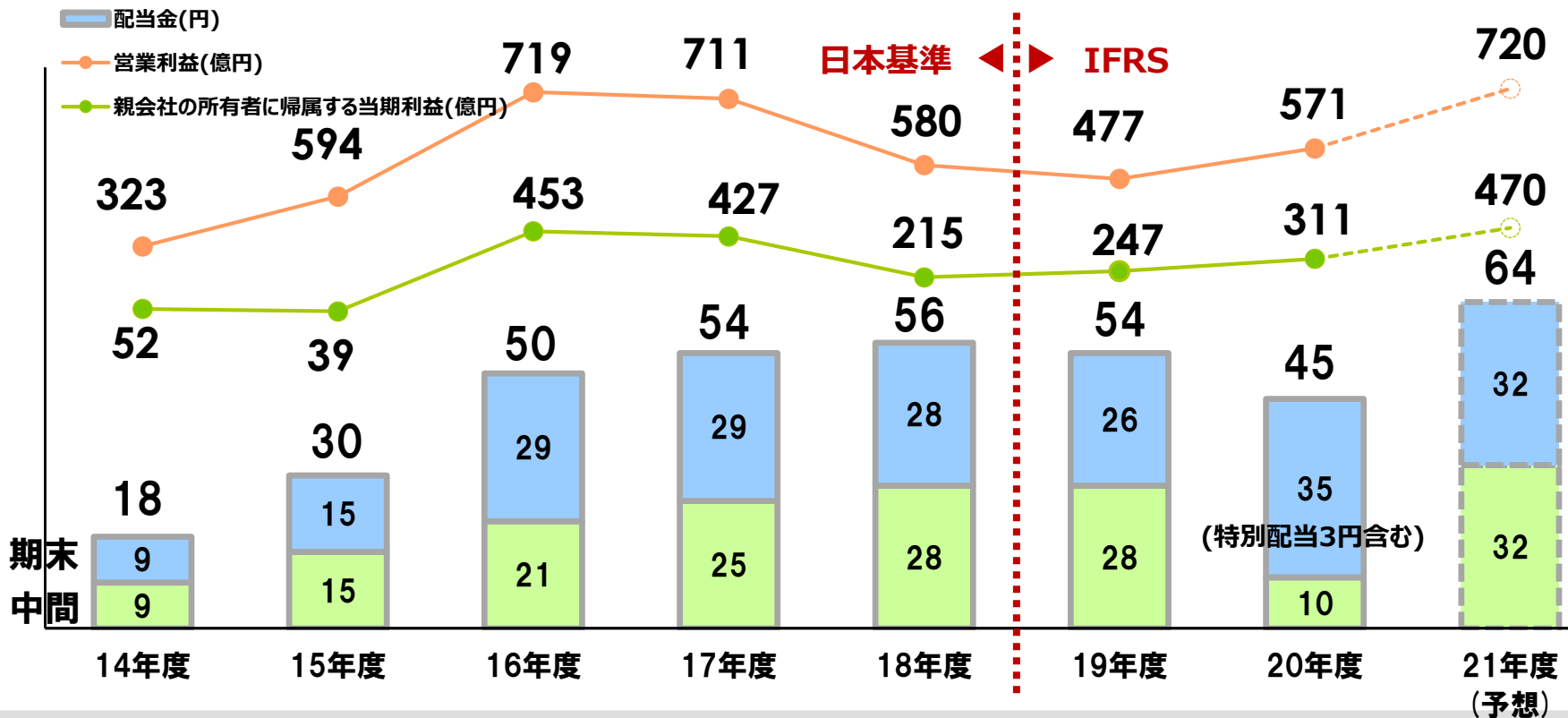
	上期		下期		通期	
日本	100	2.7%	120	3.1%	220	2.9%
北中南米	50	3.6%	50	3.6%	100	3.6%
中国	65	7.2%	85	7.7%	150	7.5%
アジア・中東	95	13.6%	95	10.6%	190	11.9%
欧州・アフリカ	15	3.8%	45	9.0%	60	6.7%
連結全体	325	4.9%	395	5.4%	720	5.1%

- ◆なお、上・下別の売上収益・営業利益につきましてはご覧いただいた通りです。

2-6) 2021年度 通期業績予想 株主還元

長期安定的な配当を継続する（64円）と共に、
今後の連結業績などを総合的に勘案し決定

配当金および営業利益、当期利益の推移



- ◆次に、配当金でございますが、21年度につきましては、当初公表しましたとおり、株主の皆様への還元として、前年比19円増配の年間64円とさせていただく予定です。

2-7) 2021年度 第1四半期 総括

【第1四半期 実績】

- ・外部環境による減益要因はあったものの、需要回復による増産影響に加え、新製品効果などの稼ぐ力は着実に向上、第1四半期では過去最高益

【第2四半期以降の見通し】

- ・材料費高騰、コロナ再拡大や半導体不足による減産など不透明な状況が継続しており、減益リスクを一定程度織り込み

【通期予想】

- ・需要変動への柔軟な生産対応や、諸経費の効率的な執行など減益リスクをリカバリーし、公表値達成に向けチャレンジ
- ・2025経営計画目標達成に向け、アクションプランを着実に進捗

スクリプト

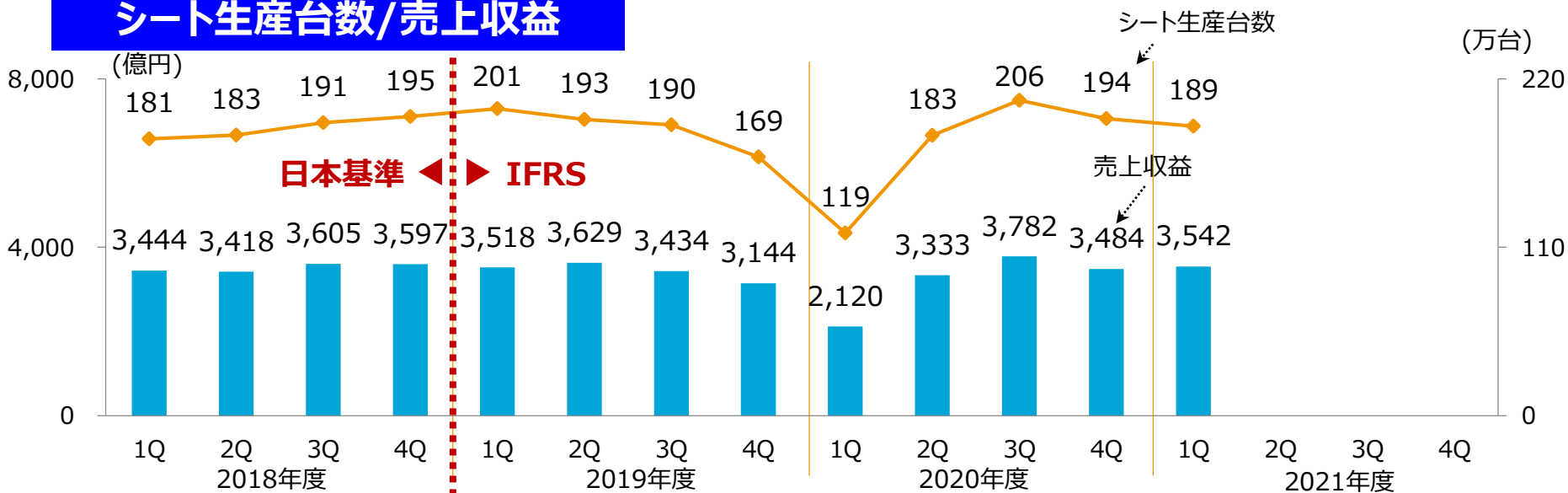
- ◆最後に、当第1四半期決算を総括させていただきます。
- ◆当第1四半期におきましては、材料費高騰やコロナの再拡大・半導体不足による減産など外部環境による減益要因はありましたが、増産効果の最大限の取り込みや、新製品の収益向上活動強化などにより稼ぐ力は着実に向上しており、第1四半期では過去最高益を確保いたしました。
- ◆通期予想におきましては、前年度のコロナ禍で培った需要変動への柔軟な生産対応や、やめる・減らす・変える活動などの体質強化を継続し、稼ぐ力を強化してまいります。
- ◆第2四半期以降におきましても、体質強化の手を緩めることなく21年度公表値の達成、2025経営計画目標達成に向け、アクションプランを着実に実施してまいります。
- ◆以上をもちまして、2021年度第1四半期決算の決算説明を終了させていただきます。ありがとうございました。

目次

1. 2021年度第1四半期 決算状況
2. 2021年度 通期業績予想
- 3. 参考情報**

参考1) 四半期推移 連結 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

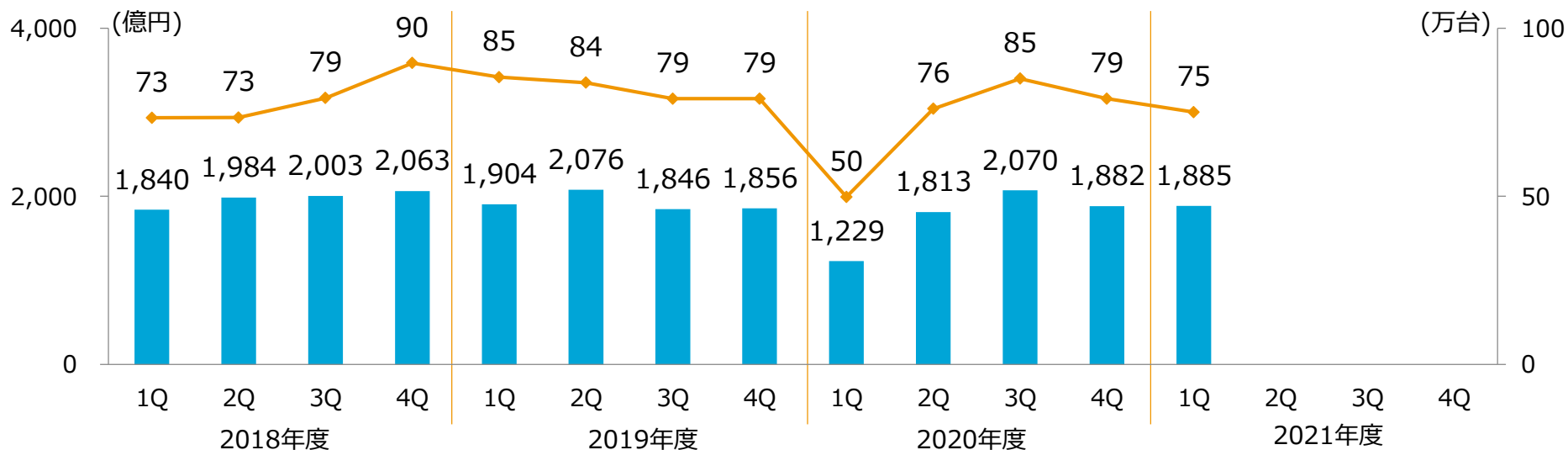


営業利益/営業利益率

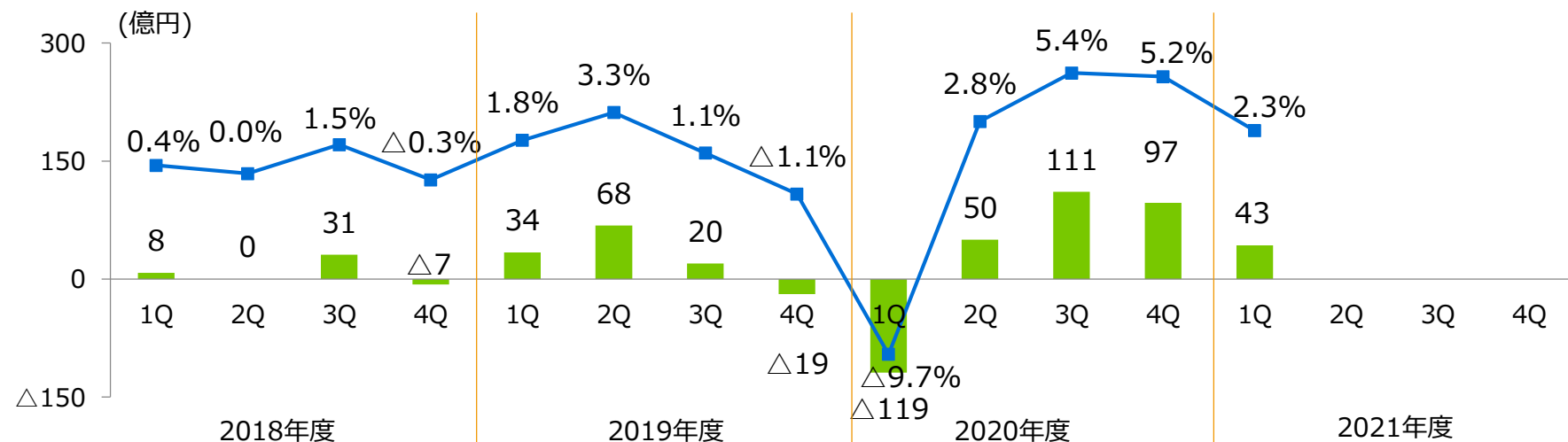


参考2) 四半期推移 日本 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

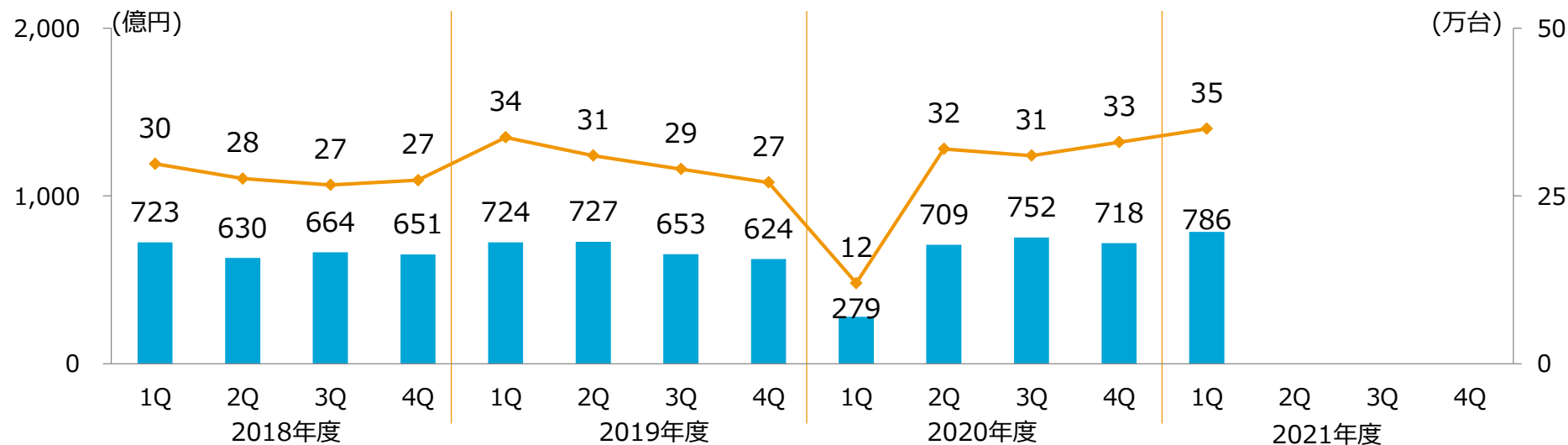


営業利益/営業利益率

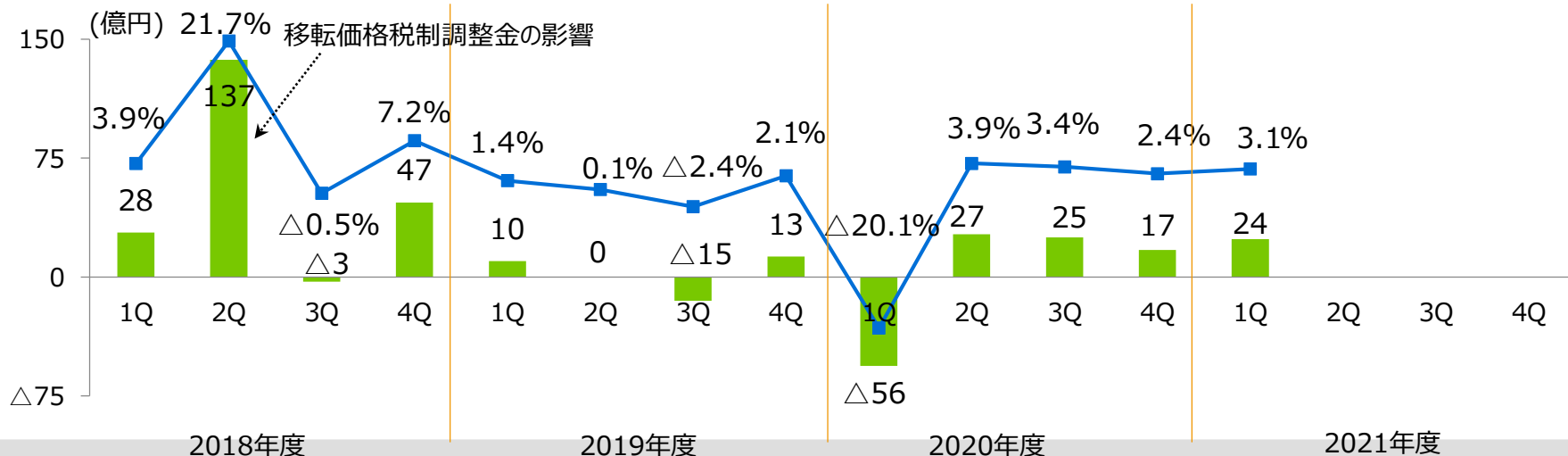


参考3) 四半期推移 北中南米 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

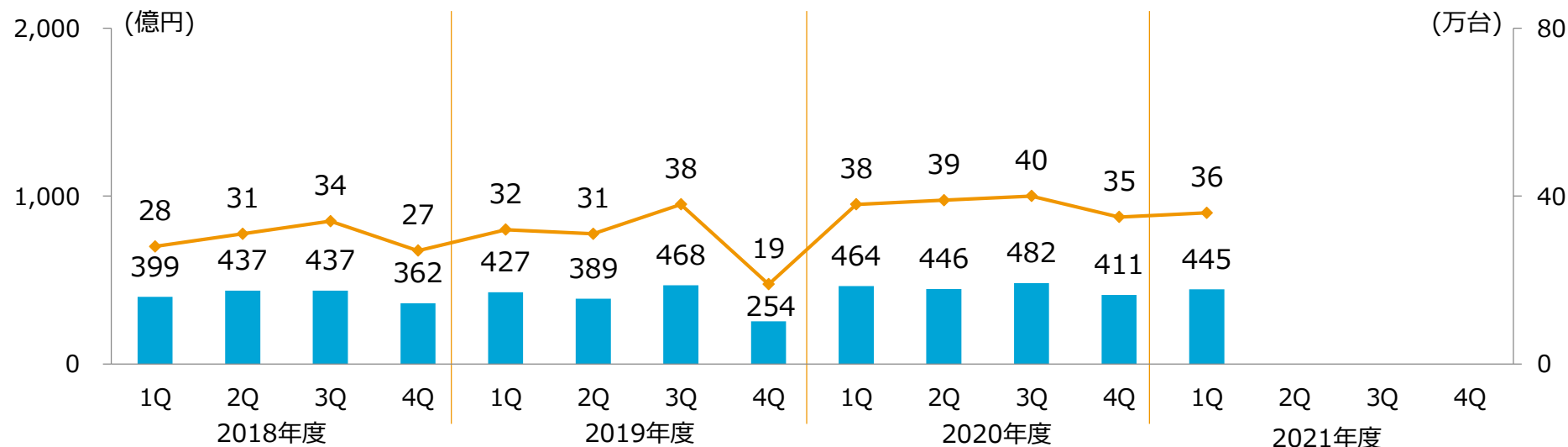


営業利益/営業利益率

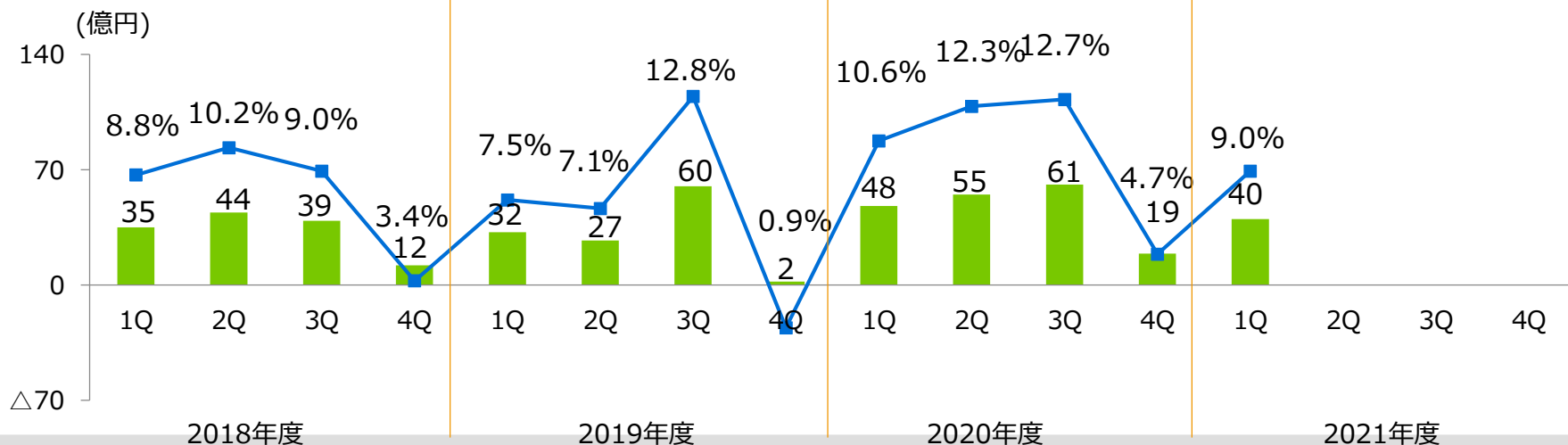


参考4) 四半期推移 中国 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

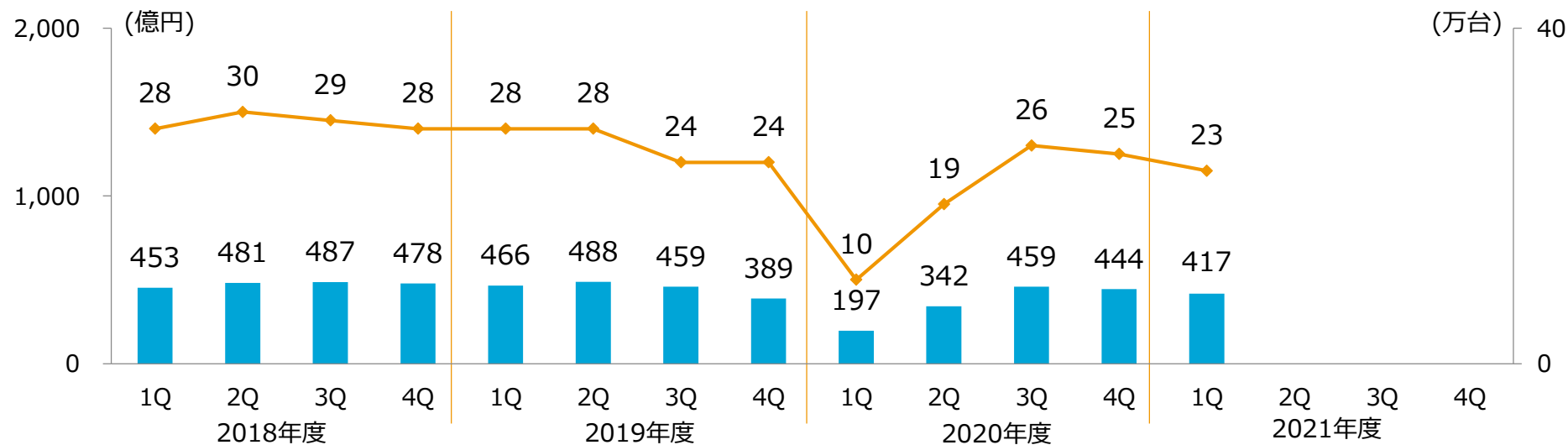


営業利益/営業利益率

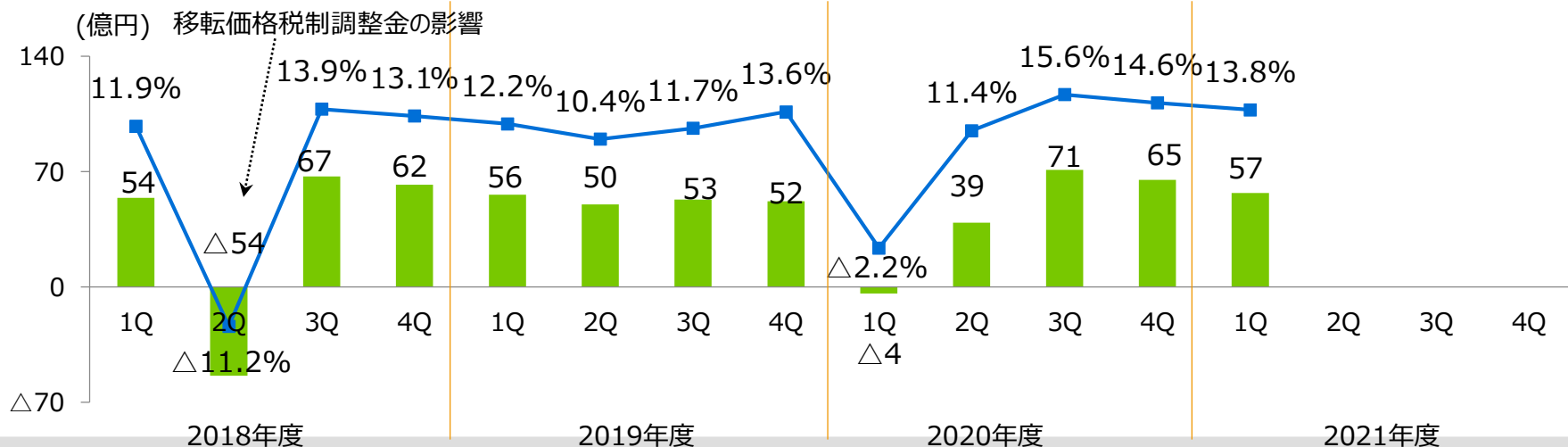


参考5) 四半期推移 アジア・北アニア 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

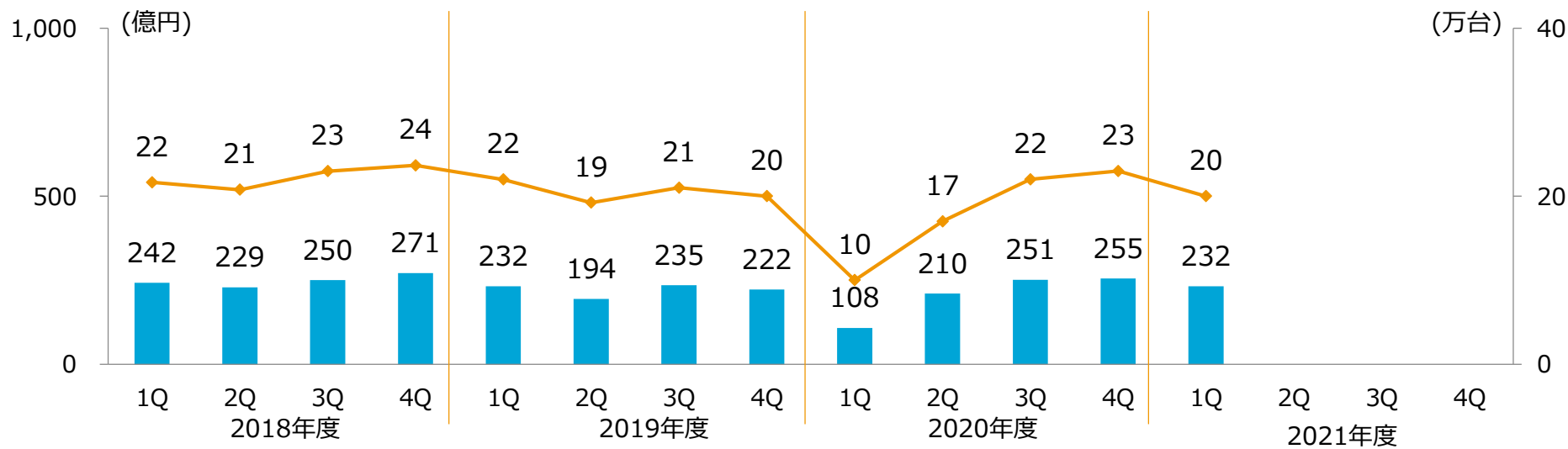


営業利益/営業利益率

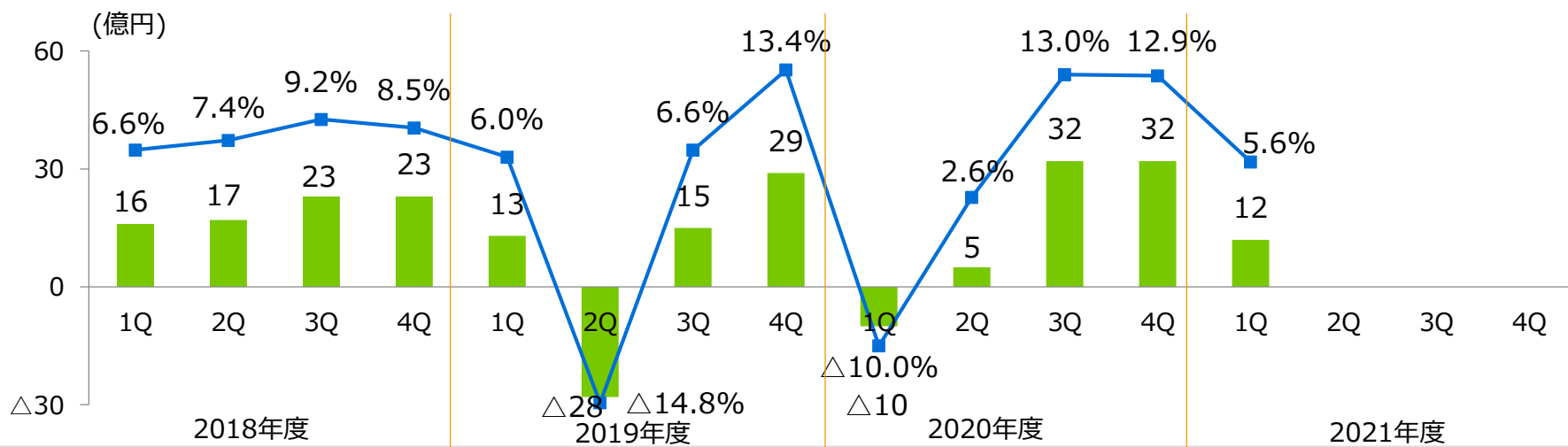


参考6) 四半期推移 欧州・アフリカ 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益



営業利益/営業利益率





<注意事項>

本資料に記載されている将来に関する業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想値であり、不確実性やリスクを含んでおります。

そのため 実際の結果は様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。